

全国同時七夕講演会

『宇宙と未来と七夕講演会』（北条鹿島企画）

協賛：日本天文学会、筑波技術大学、愛媛大学

日時：2025年8月30日（土）12:00-17:30

場所：北条鹿島博物展示館かしまーる多目的室

（愛媛県松山市北条辻1596-3 北条鹿島）

愛媛県出身または愛媛県で活躍中の実業家、学者のコラボレーション企画です。瀬戸内に浮かぶ小さな島で、宇宙とこの地の未来に想いを馳せませんか。講演会後には島内キャンプ場にてサイエンスカフェ（出演者との交流会）も開催。参加無料。

8/30が悪天候で鹿島渡船が運行されない場合には、翌8/31に順延(下記HPで要確認)

- 1) 「愛媛における地域創生ビジネス ~愛媛の可能性~」
（川端映人・HASEN代表）
- 2) 「空の戦争 —20世紀の航空戦と愛媛県—」
（竹中義顕・広島大学 人間社会科学研究科 DC2）
- 3) 「超新星に魅せられて —宇宙最大級の爆発—」
（山岡均・国立天文台天文情報センター 准教授）
- 4) 「宇宙最強のエンジンとしてのブラックホール」
（新田伸也・筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 准教授）
- 5) サイエンスカフェ
（島内キャンプ場にて出演者との交流会 ゴミの持ち帰りを！）

・ 詳細情報と参加予約

Webでの参加予約が必要（右QRコードまたは下記URLより）

<http://tsukuba-invest.sakura.ne.jp/tanabata2025/>

・ 問い合わせ先：新田伸也（筑波技術大学：世話人）

e-mail: hojo.kashima.ehime@gmail.com

・ 全国同時七夕講演会ウェブサイト

<https://www.asj.or.jp/tanabata/2025/>



北条鹿島



鯛めし（松山風）



日本海軍九六陸攻



かに星雲(国立天文台)



AGN(NASA, ESA)

<講演要旨> 一般向け講演です！

1) 「愛媛における地域創生ビジネス ~愛媛の可能性~」

飲食店などのサービス業の事業展開を通して気づいた四国・愛媛の魅力と地域創生の重要性について。またそれらをどう事業に落とし込み発展させていくのか。

2) 「空の戦争 —20世紀の航空戦と愛媛県—」

戦後80年を迎える本年、「空の戦争」をキーワードに、日本が経験した戦争の歴史を振り返ります。ライト兄弟の人類初飛行以降、航空機は急速に発達し人々を魅了しました。ところが、飛行機は誕生して間もなく戦争に使用され、兵器として発展していくことになります。第二次世界大戦の頃には、航空戦力が海戦・陸戦においても大きな力を持つに至りました。それは個々の作戦だけでなく、時には戦争全体や政治をも動かし、社会的にも大きな影響を与えることもありました。今回は、日本が経験した「空をめぐる戦い」が、戦争全体や社会とどのように絡みながらどのように展開されたのか紹介します。その際、身近な事例として愛媛県にスポットライトをあて、社会現象としての航空兵ブーム(青少年の志願熱)や航空基地の存在と空襲の関係についても明らかにします。

3) 「超新星に魅せられて —宇宙最大級の爆発—」

超新星を知っていますか？ 太陽のように自分で輝く恒星が、その一生の最後に星全体を吹き飛ばす大爆発です。とても明るく輝くため、宇宙の遠くで起きたものも観測することができます。超新星は歴史的な書物にも記録され、また宇宙膨張を測定することにも使われています。そんな超新星に魅せられて、松山で生まれ育った私は天文学者になってしまいました。その過程で出会った人たちも紹介しながら、私の歩んだ道のりを語ります。

4) 「宇宙最強のエンジンとしてのブラックホール」

「宇宙の死の淵」と捉えられがちなブラックホール（BH）ですが、多くの銀河の中心に存在する超大質量BHは、太陽質量の数百万倍から数十億倍もの質量を持ち、宇宙最強のエンジンとして働くことがわかっています。これまで研究されてきたBHエンジンは2種類あります。BH周辺の物質の重力エネルギーを解放するものと、BH自身の持つ回転エネルギーを解放するものです。BHエンジンが放出する大量の高エネルギー粒子（宇宙線）や紫外線は、太陽のような天体が形成されるスピードを抑制したり、雲の生成に関わるなど、宇宙の歴史や地球環境に影響をもたらすことがわかってきています。この宇宙最強のBHエンジンについて解説します。

<講師紹介>

・川端 映人（株式会社HASEN 代表取締役）

香川県出身。愛媛大学 法文学部 総合政策学科 企業システムコース卒業。

・竹中 義顕（広島大学大学院 人間社会科学研究科 博士課程在学）

松山市出身。専門は日本近現代史。中学生の頃から戦争体験者への取材を始めたことをきっかけに、日本の社会と戦争の歴史に関心を持つ。現在はアジア・太平洋戦争における軍人の募集と志願について研究する傍ら、取材や戦争関係資料のアーカイブに取り組んでいる。

・山岡 均（国立天文台 天文情報センター 准教授 天体物理学）

松山市出身。専門は天体物理学、特に超新星爆発をはじめとする変動天体。「酒の肴に星の話を」を合言葉に前任地の福岡で立ち上げたサイエンスパブを現在も不定期に開催、松山でも開催実績あり。

・新田 伸也（筑波技術大学 准教授 ブラックホール物理学、プラズマ物理学）

松山市出身。「紙とペン」を武器に、宇宙の果てまで解き明かそうとしている未だ「売り出し中」の出遅れた理論物理学者。ブラックホールエンジン、相対論的プラズマ風理論、磁気リコネクション、銀河風加速過程などを研究している。鹿島は「魂の故郷」。